



JWU 子育てサイエンス・ラボが発行するニュースレター「ゆりのき」は子育てにまつわる様々なトピックやお気軽に参加できる「子育てサイエンス・カフェ」のご案内を掲載しています。以前の「ゆりのき」も[公式HP](#)で閲覧できます

=====**第18回子育てサイエンス・カフェ報告** (5月11日実施) =====

「江戸時代の子ども絵本 ―江戸社会はどのような絵本を子どもに与えていたのか―

子どもが読む絵本というのはあたりまえにころがっています。子どもに絵本が与えられるのは江戸時代に始まりました。その一部は桃太郎や分福茶釜、花咲かじいさんなど今も読まれているものもあります。江戸の社会ではどのようなことを願って子どもに絵本を読み聞かせていたのでしょうか。



「おとぎ話」という言葉自体が近代になって定着したように、今、わたしたちが知っている子ども絵本と江戸時代のものでは内容の違うものがあります。太宰治が言うように、あるものは残酷さが軽減され、あるものには教訓性が付与されたり削られたりしました。

また、江戸時代には少数派でしたが、儒者の江村北海のように、子どもに厳しく学問を強いるより、絵本を使って本好きにせよと説く人もいました（『授業編』）。



それでは江戸社会は子どもにどのような絵本を与えていたのでしょうか。桃太郎を例に取りましょう。江戸時代の子ども絵本は桃から生まれる「果生型」より桃

を食べて若返る「回春型」が多いです。そして、桃太郎が鬼退治に行く際に父親は反対するも母親が応援し、父親を説得するというのも意外な感じですが。さらには「きびだんご」製作

です。現代人は母親が桃太郎のために「きびだんご」をこしらえると思いがちですが、江戸時代では作成は桃太郎自身、父親が協力することになっています。これは当然のことでしょう。桃太郎が自分から家を出ると言ったのであれば、これからの食事は母親を頼ってはいけません。自分で作らないといけない。江戸時代は子どもを早く大人にさせたがるといえます。子ども扱いの時期が短いのですが、そこが現代を生きるわれわれには不思議な印象を与えます。



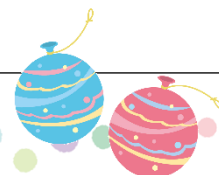
もっとも大きな違いは、家来の猿・キジ・犬との関係です。この3匹は本来相容れないものたち、特に犬猿の仲といわれる2匹をリーダーとしてまとめなければならない。この設定こそ、江戸社会が子どもに求めたリーダー育成なのです。これから生きていくうちに、どこかで自分の子がリーダーとなります。その時には、仲よし集団を結成するのではなく、各能力に秀でた者を集めること、そしてそれぞれの性格にあわせてコミュニケーションを取る必要性を子どもに教えるのです。そのために「きびだんご」も均等に分けてはいけません。一人一個宛などのもつてのほかです。強欲な猿には、猿の欲しがらるまま30個ほど与え、プライドの高いキジには1個与え、きびだんごがなくても猿以上の愛情を求めるワンちゃんには、無報酬だが愛情を注ぎます。それだけで、部下は猿（智）、キジ（勇）、犬（仁）のパートで力を発揮してくれます。これが子ども絵本を通して親が子どもに伝えたいリーダー像なのでした。

当日は、多くのご参加ありがとうございました。

(文学部日本文学科 福田 安典)



イベント報告 <雑司が谷キラキラ市>



去る6/9（日）、雑司が谷にある大鳥神社にて、『雑司が谷キラキラ市』が開催されました。



これは、雑司が谷に住む方たちに楽しみながら神社との結びつきを感じていただき、地域みんなで神社を盛り上げよう！というきっかけになる機会を提供したいとの想いから、近隣でお店をされている方々を中心に企画されました。キャンパスに程近いお店から本学にもお声掛けをいただき、今回児童学科8名と社会福祉学科5名の学生がボランティアとして参加してくれました。

今回初めて実施されるイベントのため全ての企画が一からであったこと、学生の参加確定までに時間がかかったことで、準備にあまり時間が取れない状況でしたが、児童学科安藤朗子教授、浅野由子准教授、社会福祉学科黒岩亮子准教授のご指導のもと、しっかりと内容を詰めることができ、イベント当日を迎えることができました。

児童学科の学生は、折り紙や七夕飾り・短冊制作、風鈴作りができる工作コーナーを、社会福祉学科の学生は、こども縁日（型抜きやヨーヨー釣り）や野菜等の販売のお手伝いをする事となりました。



準備からスタート！

キラキラ市当日は、10時の開始直後から多くの親子連れが会場を訪れ、工作コーナーやこども縁日コーナーはすぐに

子どもたちでいっぱいになり、楽しそうな声が響いておりました。特に工作コーナーは午後になっても大人気で、風鈴作りは予定していた数が無くなるほどでした。



大盛況となりました！

本学学生の取り組み以外でも、東京音楽大学の学生有志による生演奏やプロの落語家による出張寄席なども行われ、普段は静かで厳かな境内がとても賑やかで活気溢れる1日となりました。



社会連携教育センターでは、地域社会への貢献と実践的な学生教育の場を提供するというふたつの大きな役割を担っています。今回のような近隣地域との取組も貴重な機会ですので、これからも学生達の学習成果の発表と実践的な学びを得る場として、積極的に参加できればと思っています。

=====**次回の子育てサイエンス・カフェは!**=====

第**19**回 子育てサイエンス・カフェ

参加無料



オンライン開催

子どもの話に耳を傾ける



— 子どもに自信をもって関わるために

臨床心理学の立場から言えること—

講師

日本女子大学 人間社会学部心理学科准教授/心理相談室室長 堀江 桂吾
専門は臨床心理学。臨床心理士・公認心理師として病院に勤務し、成人のカウンセリング、子どものプレイ・セラピーに加え、子育てに悩む親御さんを対象としたカウンセリングを実施してきた。

日時

2024年 **7/27(土)**

10:30~12:00

Zoomによるオンライン開催
ご自宅からお気軽にご参加ください。

申込み

QRコード または URL からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/TV0KRaHPjx>

お申込み受付後、Zoom 詳細情報をメールにて
お送りいたします。



子どもの話を「聴く」ことが大切、ということは皆さんご存知だと思います。しかし「ただ『聴いて』いけばいいの?」「『聴くこと』にどんな意味があるの?」「アドバイスや注意をしてはいけないの?」などなど、子どもに関わるなかで悩んでいる方は沢山いらっしゃるのではないのでしょうか?今回は、臨床心理学の立場から「子どもの話に耳を傾ける」とは具体的にどういうことを指すのか、そして、それが子どもにどんな意味を持つのかについて、一緒に考えたいと思います。



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

心理相談室のご案内



日本女子大学心理相談室では、地域の皆様の心の相談をお受けしています。
たとえば…



- 子どもの発達や成長が気になる
- 不登校、集団になじめない
- 子育ての悩み
- 対人関係、親子関係
- 気持ちを整理したい
- 自分の性格、将来・生き方
- 自分を見つめたい など

相談は完全予約制です。お電話でお申込みください。

日本女子大学 心理相談室 **03-5810-1507** (直通)

受付:月曜~土曜 9時~17時

日本女子大学 心理相談室



板橋区立中央図書館連携事業「楽しく学ぼう！親子読み聞かせ講座」

板橋区立中央図書館・日本女子大学 連携事業

楽しく学ぼう！
親子読み聞かせ講座（第2回）

令和6年8月1日（木）
時間 10時30分～11時30分
場所 中央図書館 図書館ホール

講師 今田 由香氏
日本女子大学 家政学部児童学科 准教授
博士（学術）。児童絵本について研究を続けています。大学では、絵本学や児童文学に携わる授業を担当し、認定絵本士や絵本専門士の養成にも携わる。絵本学免許、日本児童文学学会理事を兼任し、『トミ・ワングラーと絵本』（玉川大学出版部）、『絵本ものがたりFIND』（共編、朝倉書店）、『ヘーシック絵本入門』（共著、ミネルヴァ書房）など、絵本に関わる書籍や論文を多数発表してきました。

内容 家庭内で読み聞かせを行うにあたり、絵本の選び方や楽しみ方を、実践を交えて学びます。


対象 板橋区内在住・在勤・在学の方で、3歳までのお子さんと保護者の方。
これからお母さん・お父さんになれる方も受講できます。

定員 20組（申込順）

申込方法 7月6日（土）午前9時から電子申請にて申込開始（定員に達し次第、終了）
※キャンセルが生じた場合、当日受付可能

問合せ 板橋区立中央図書館 Tel. 03-6281-0291

※本事業では印刷・広報のため、写真撮影をいたしません。予めご了承ください。

申込みはこちら


第2回「楽しく学ぼう！親子読み聞かせ講座」は8月1日（木）開催。家庭内で読み聞かせを行うにあたり、絵本の選び方や楽しみ方を、実践を交えて学ぶ講座です。


【対象】板橋区内在住・在勤・在学の方で、3歳までのお子さんと保護者の方。これからお母さん・お父さんになれる方も受講できます。

ただいまお申込み受付中です！（先着 20 組）

下記板橋区のホームページからお申込みください。

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/oshirase/2000812>




ラボ 協力会員
募集中！！

お子様と大学の研究に参加しませんか？

日本女子大学「JWU 子育てサイエンス・ラボ」では、子どもの発達（例：ことば、コミュニケーション、見る力の獲得）や子育てについて、種々の学術調査を行っています。

ラボ協力会員に登録して、お子様と一緒に、本学の研究に参加しませんか？

（調査ごとに、ご登録者の中から年齢等の調査条件に合う方にご連絡します。調査内容・所要時間・謝金の有無等を担当者が説明し、参加をご了承いただいた場合は、ご都合に合わせて調査スケジュールを調整します。）

「ラボ協力会員」詳細、ご登録方法は**こちら**▶

ラボ協力会員募集中→下スクロール→「登録はこちら」



「JWU 子育てサイエンス・ラボ」を運営する社会連携教育センターの公式 SNS アカウントです。

